



指扇中だより



西区の花 アジサイ

= 自信と誇りに満ちた指中生 =

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 電話 048(624)6234 FAX048(624)2479

ホームページアドレス <http://sashiogi-j.saitama-city.ed.jp/>

『日本の良さ・日本人の良さ』



校長 あおき ひろし
青木 洋

新年のあいさつを交わしていたら、あっという間に2月です。各学年とも、進学・進級に向け、毎日を大切に過ごしながら目標や将来の夢に向かって活躍し続けています。

さて、2020年(令和2年)は、東京オリンピックの年になります。

1964年(昭和39年)以来の2度目の東京オリンピックです。毎日、この話題が、ニュースや新聞でにぎわっています。私は、新しい時代への幕開けのように感じています。なんだか今からワクワクしているのは、私だけでしょうか?でも、忘れてはいけないのは、日本の良さそして日本人の良さでは、ないでしょうか?そこで、このことについて考えていこうと思います。

海外留学や海外経験のある人が、一様に「日本すごい」というもの10選を紹介します。

- ①列に並ぶ
- ②食文化
- ③どこも綺麗
- ④本音と建前
- ⑤公共マナーの良さ
- ⑥日本語が共通語
- ⑦治安
- ⑧良い対外イメージ
- ⑨低い失業率
- ⑩物価の安さ

という10項目があがります。この中で、日本の教育によって習慣づけられたことがあります。

①「列に並ぶ」このことは、小学校から集団生活を通して、集団でスムーズに行動できるよう体育の授業を中心に学んでいます。そして、運動会や体育祭で、その成果を発表して、身に付けています。本校においても、集会や式典等の整列は、素晴らしいものの一つです。

③「どこも綺麗」生徒が学校を掃除するのは世界でも珍しい習慣だそうです。日本では、自分たちが使う場所に対して、感謝の気持ちを込めて、「来た時よりも美しく」という美学があります。本校でも10分の朝清掃の時間を利用して、きれいな学校づくりと生徒の心もきれいにしよう教育を続けています。

⑤「公共マナーの良さ」本校では、1年の校外学習の時から電車の乗り方や班活動の協力する大切さ、人に迷惑をかけないこと等を学びます。そして、集大成として、3年生の修学旅行へとつなげていきます。まさに3年間を見通して、集団生活でのルールやマナーを身に付けて卒業していくことを常に考えて教育をしています。

話は変わりますが、日本を訪れる外国人が年々増加しています。東京オリンピックが行われる今年は、なおさら外国人の観光客が押し寄せると思われます。そのような日本大好きな外国人は、日本人のこういったところに魅かれるのでしょうか?

- (1) 親切
- (2) 真面目で勤勉
- (3) 信頼できる
- (4) 気配り
- (5) 低姿勢

以上が『日本人のいいところ』ベスト5だそうです。この学校だよりを読んでいる皆さんは、この5つを自信をもって「出来ます!!」と誇れますか? 合言葉は「自信と誇り」です。

指扇地区目指す児童生徒像 「～夢をもち 社会のために進んで学ぶ 指扇の子ども～」